

音楽療法士の北村裕美子さんと一緒に、手話を交えながら歌を歌う参加者＝名古屋市中村区の城西病院で



認知症患者ら笑顔に

歌や楽器演奏などで脳を刺激し、心身を整える「音楽療法」が、認知症の患者にも広がっている。先駆的に取り組む名古屋市の病院などを舞台に、音楽療法士に焦点を当てたドキュメンタリー映画も今夏に公開された。高齢者の笑顔があふれる音楽療法の現場やその効果取材した。（河野紀子）

音楽療法 広がる効果



ドキュメンタリー映画「認知症と生きる希望の処方箋」（野沢和之監督、写真）は、今夏に全国公開された。北村さんと赤塚さんが、認知症の高齢者らに音楽療法を行う姿や、本人や家族の様子を記録した。赤塚さんは「音楽療法

紹介映画 公開

はまだ知られていない部分がたくさんある。いろんな方にこの映画を見てもらえたら」と話した。中部地方では、名古屋市中村区のシネマスコールで上映中。長野県上田市の上田映劇、浜松市のシネマイーラで上映予定。

「良いですねえ。ノリノリの曲で楽しくなりますね」。9月上旬、名古屋市中村区の偕行会城西病院。音楽療法士の北村裕美子さん(29)が、集まった約40人に笑顔で語りかけた。ピアノ伴奏をしながら、一緒に「青春時代」を歌った後、「皆さんの青春時代はどうでしたか？」と質問すると、あちこちで笑いも。懐かしの昭和歌謡など8曲を演奏し、参加者は楽しそうに声を張り上げた。合間にストレッチや、曲を当てるイントロクイズもあり、あつという間に1時間のプログラムが終わった。

認知症の診療に力を入れ

「良いですねえ。ノリノリの曲で楽しくなりますね」。9月上旬、名古屋市中村区の偕行会城西病院。音楽療法士の北村裕美子さん(29)が、集まった約40人に笑顔で語りかけた。ピアノ伴奏をしながら、一緒に「青春時代」を歌った後、「皆さんの青春時代はどうでしたか？」と質問すると、あちこちで笑いも。懐かしの昭和歌謡など8曲を演奏し、参加者は楽しそうに声を張り上げた。合間にストレッチや、曲を当てるイントロクイズもあり、あつという間に1時間のプログラムが終わった。

認知症の患者に対しては、昔好きだった音楽を聴いて当時を思い出してリラックスする「回想法」や、音楽に合わせて歌ったり一緒に演奏したりすることが有効だ。患者が抱える不安や焦燥感が和らぐことが、複数の研究で分かっています。実証のための研究も進んでいる。

独では国家資格 心身整え脳刺激

名古屋市の80代の女性は、認知症と診断された4年前から通い始めた。「みんなと一緒に歌を歌うのが、での国家資格化を目指し